

# ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2023年1月6日時点)

▶ **ウクライナ軍が南部及び東部の露軍への反撃を継続する一方、露軍は東部ドネツク州における占領地拡大に向けた作戦や各地の民生インフラに対する攻撃を継続している模様**

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

露軍: **死者5937人**(ショイグ国防相発言22年9月21日)  
: **死者約10万9720人**、戦車喪失3041両、装甲車両6108両(「ウ」国防省1月5日)  
: **死傷者7~8万人前後**、装甲車両喪失3~4千両(米国防省22年8月8日)  
「ウ」軍: **死者約9千人**(「ウ」軍22年8月22日)  
「ウ」市民: **死者6919人以上、負傷者1万1075人以上**(OHCHR1月3日)

マリアル「ウ」国防次官は、**今後露が侵略開始当初のような烈度の戦闘が出来なくとも、戦争を継続していくには十分な予備戦力を有している旨指摘**(1月3日)

露軍は年末年始に「ウ」全土の重要インフラに対するミサイル及びUAVIによる攻撃を実施。「ウ」軍は12月28日から1月3日までの間にミサイル70発及びUAV135機を撃墜した旨発表

- 「ウ」軍参謀本部は、12月31日深夜、「ウ」軍がドネツク州マキエイクアの露軍拠点を攻撃し、装備品を破壊・損傷させたほか、確認中ながら兵員にも被害を与えた旨発表(1月2日)
- 「ウ」軍戦略的コミュニケーション局は、上記の攻撃により、露軍約400人が死亡、約300人が負傷したとの見方に言及(1月2日)
- 露国防省は、上記の攻撃に関し、「ウ」軍のHIMARSから発射されたロケット弾4発が露軍兵舎に着弾、将兵89人が死亡した旨発表(1月4日)

ザルジヌイ「ウ」総司令官は、ミリー米統参議長と電話会談し、ルハンスク州クレミンナ、リシチャンスク及びドネツク州フムート方面で激しい戦闘が続いている旨、また同州アウジーウカでは**防衛に成功し反転攻勢を継続している旨発言**(1月3日)

- プーチン大統領は、ショイグ国防相に対し、正教会のクリスマスに当たる**1月6日12時から同日24時(モスクワ時間)までの間停戦**するよう指示(1月5日)
- ゼレンスキー大統領は声明で、上記指示に関し、**露が「ウ」の反転攻勢を停止させるとともに自軍を立て直すためにクリスマスを利用する意図は明白である旨表明**(1月5日)

「ウ」軍参謀本部は、12月31日、「ウ」軍がヘルソン州のドニプロ川東岸のチュラキウカに所在する露軍部隊を攻撃し、**500人が死傷**した旨発表(1月3日)

プーチン大統領は、南部軍管区司令部(ロストフ・ナ・ドヌー)を訪問し、露軍に「編入」された旧「ドネツク人民共和国人民義勇軍」第1軍団、旧「ルハンスク人民共和国人民義勇軍」第2軍団等に軍旗を授与(22年12月31日)

露国防省は、戦略爆撃機を配備するサラトフ州の**エンゲリス航空基地に接近したウクライナ軍の無人機を撃墜**し、その残骸で**軍人3人が死亡**した旨発表(22年12月26日)

- 主要都市
- ✈️ 主要軍施設
- 🔥 露軍による攻撃が報じられた主な地点
- 露軍が占領した地点
- 👉 侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
- 👈 ウクライナ軍が奪還した地域

